

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公開番号】特開 2002-324323 (P2002-324323A)  
 【公開日】平成 14 年 11 月 8 日 (2002.11.8)  
 【出願番号】特願 2002-41661 (P2002-41661)  
 【国際特許分類】

**G 1 1 B 7/0045 (2006.01)**

**G 1 1 B 7/007 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 7/0045 Z

G 1 1 B 7/007

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 6 月 6 日 (2007.6.6)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

1 つのブロックに記録されるデータと、  
前記ブロックの始端に隣接した領域に記録される始端ダミーデータと、  
前記ブロックの終端に隣接した領域に記録される終端ダミーデータと、  
が記録され、  
前記ブロックは、複数のセクタから構成され、エラー訂正符号を含み、  
アドレス情報はトラックのウォブルに重畳して予め記録されており、  
前記始端ダミーデータと前記終端ダミーデータとは、長さが異なり、複数の連続パターン  
を含み、前記連続パターンの一部のパターンは共通している、情報記録媒体。

【請求項 2】

複数のブロックに記録されるデータと、  
前記複数のブロックの各ブロックの始端に隣接した領域に記録される始端ダミーデータ  
と、  
前記複数のブロックの各ブロックの終端に隣接した領域に記録される終端ダミーデータ  
と、  
前記複数のブロックの最後のブロックの終端に隣接した領域である最終終端領域に記録  
される終端ダミーデータが記録される前記最終終端領域の終端に隣接した領域に記録され  
るエンド・ダミーデータと、  
が記録され、  
前記複数のブロックの各ブロックは、複数のセクタから構成され、エラー訂正符号を含  
み、  
アドレス情報はトラックのウォブルに重畳して予め記録されており、  
前記始端ダミーデータと前記終端ダミーデータとは、長さが異なり、複数の連続パターン  
を含み、前記連続パターンの一部のパターンは共通しており、  
前記始端ダミーデータ及び前記終端ダミーデータと、前記エンド・ダミーデータとは、  
長さが異なる、情報記録媒体。

【請求項 3】

前記始端ダミーデータ又は前記終端ダミーデータは、ランダムにその長さや開始位置が

異なる、請求項 1 又は請求項 2 記載の情報記録媒体。

【請求項 4】

前記エンド・ダミーデータは、記録パワーの変動を抑圧するための領域を含む、請求項 2 記載の情報記録媒体。

【請求項 5】

情報記録媒体にデータを記録する方法であって、  
1 つのブロックにデータを記録するステップと、  
前記ブロックの始端に隣接した領域に始端ダミーデータを記録するステップと、  
前記ブロックの終端に隣接した領域に終端ダミーデータを記録するステップと、  
を含み、  
前記ブロックは、複数のセクタから構成され、エラー訂正符号を含み、  
アドレス情報は前記情報記録媒体のトラックのウォブルに重畳して予め記録されており

、  
前記始端ダミーデータと前記終端ダミーデータとは、長さが異なり、複数の連続パターンを含み、前記連続パターンの一部のパターンは共通している、記録方法。

【請求項 6】

情報記録媒体にデータを記録する方法であって、  
複数のブロックにデータを記録するステップと、  
前記複数のブロックの各ブロックの始端に隣接した領域に始端ダミーデータを記録するステップと、  
前記複数のブロックの各ブロックの終端に隣接した領域に終端ダミーデータを記録するステップと、  
前記複数のブロックの最後のブロックの終端に隣接した領域である最終終端領域に記録される終端ダミーデータが記録される前記最終終端領域の終端に隣接した領域にエンド・ダミーデータを記録するステップと、  
を含み、  
前記複数のブロックの各ブロックは、複数のセクタから構成され、エラー訂正符号を含み、  
アドレス情報は前記情報記録媒体のトラックのウォブルに重畳して予め記録されており

、  
前記始端ダミーデータと前記終端ダミーデータとは、長さが異なり、複数の連続パターンを含み、前記連続パターンの一部のパターンは共通しており、

前記始端ダミーデータ及び前記終端ダミーデータと、前記エンド・ダミーデータとは、長さが異なる、記録方法。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の情報記録媒体を再生する方法であって、  
前記始端ダミーデータを再生するステップと、  
前記始端ダミーデータの終端に隣接したブロックに記録されたデータを再生するステップと、  
を含む、再生方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る情報記録媒体は、1 つのブロックに記録されるデータと、ブロックの始端に隣接した領域に記録される始端ダミーデータと、ブロックの終端に隣接した領域に記録される終端ダミーデータと、が記録される情報記録媒体である。ブロックは、複数のセク

タから構成され、エラー訂正符号を含む。アドレス情報はトラックのウォブルに重畳して予め記録されている。始端ダミーデータと終端ダミーデータとは、長さが異なり、複数の連続パターンを含み、連続パターンの一部のパターンは共通している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る別の情報記録媒体は、複数のブロックに記録されるデータと、複数のブロックの各ブロックの始端に隣接した領域に記録される始端ダミーデータと、複数のブロックの各ブロックの終端に隣接した領域に記録される終端ダミーデータと、複数のブロックの最後のブロックの終端に隣接した領域である最終終端領域に記録される終端ダミーデータが記録される最終終端領域の終端に隣接した領域に記録されるエンド・ダミーデータと、が記録される情報記録媒体である。複数のブロックの各ブロックは、複数のセクタから構成され、エラー訂正符号を含む。アドレス情報はトラックのウォブルに重畳して予め記録されている。始端ダミーデータと終端ダミーデータとは、長さが異なり、複数の連続パターンを含み、連続パターンの一部のパターンは共通している。始端ダミーデータ及び終端ダミーデータと、エンド・ダミーデータとは、長さが異なる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の情報記録媒体において、始端ダミーデータ又は終端ダミーデータは、ランダムにその長さや開始位置が異なってもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の情報記録媒体において、エンド・ダミーデータは、記録パワーの変動を抑圧するための領域を含んでも良い。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明に係る記録方法は、情報記録媒体にデータを記録する方法であって、1つのブロックにデータを記録するステップと、ブロックの始端に隣接した領域に始端ダミーデータを記録するステップと、ブロックの終端に隣接した領域に終端ダミーデータを記録するステップと、を含む。ブロックは、複数のセクタから構成され、エラー訂正符号を含む。アドレス情報は情報記録媒体のトラックのウォブルに重畳して予め記録されている。始端ダミーデータと終端ダミーデータとは、長さが異なり、複数の連続パターンを含み、連続パターンの一部のパターンは共通している。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

本発明に係る別の記録方法は、情報記録媒体にデータを記録する方法であって、複数のブロックにデータを記録するステップと、複数のブロックの各ブロックの始端に隣接した領域に始端ダミーデータを記録するステップと、複数のブロックの各ブロックの終端に隣接した領域に終端ダミーデータを記録するステップと、複数のブロックの最後のブロックの終端に隣接した領域である最終終端領域に記録される終端ダミーデータが記録される最終終端領域の終端に隣接した領域にエンド・ダミーデータを記録するステップと、を含む。複数のブロックの各ブロックは、複数のセクタから構成され、エラー訂正符号を含む。アドレス情報は情報記録媒体のトラックのウォブルに重畳して予め記録されている。始端ダミーデータと終端ダミーデータとは、長さが異なり、複数の連続パターンを含む。連続パターンの一部のパターンは共通しており、始端ダミーデータ及び終端ダミーデータと、エンド・ダミーデータとは、長さが異なる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

本発明に係る再生方法は、上記情報記録媒体を再生する方法であって、始端ダミーデータを再生するステップと、始端ダミーデータの終端に隣接したブロックに記録されたデータを再生するステップと、を含む。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】